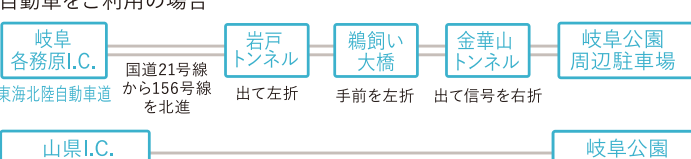
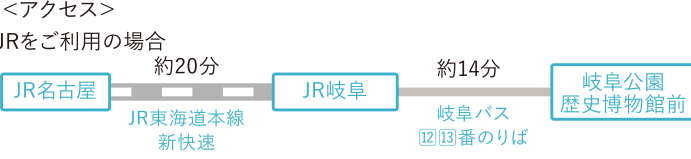


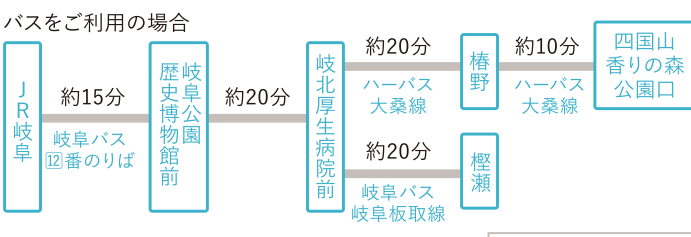
麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館

岐阜市大宮町2丁目18-1(岐阜市歴史博物館2階)
TEL:058-201-3838
(麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館 入場券販売管理センター)
<開設期間>令和2年1月11日(土)~
令和3年1月11日(月・祝)
<開館時間>>9:00~17:00(入館は16:30まで)
<料 金>大人(高校生以上)600円
小人(小・中学生) 300円

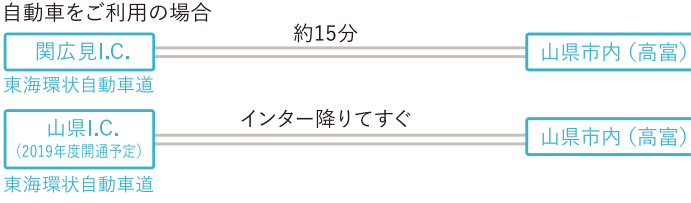


※所要時間は道路状況により異なります。
※バス・鉄道の運行(時刻表)は、各バス・鉄道会社のホームページをご参照ください。

山縣市までのアクセス



※所要時間は道路状況により異なります。
※バスの運行情報は岐阜バスNaviよりご確認ください。



タクシーをご利用の場合
○高富タクシー有限会社 TEL:0581-22-2321
○岐阜県個人タクシー協同組合 TEL:058-246-6814

美濃国 戦国案内人の申し込み方法

麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館 バス駐車場・ガイド予約センター
TEL:058-201-3855 FAX:058-201-3877

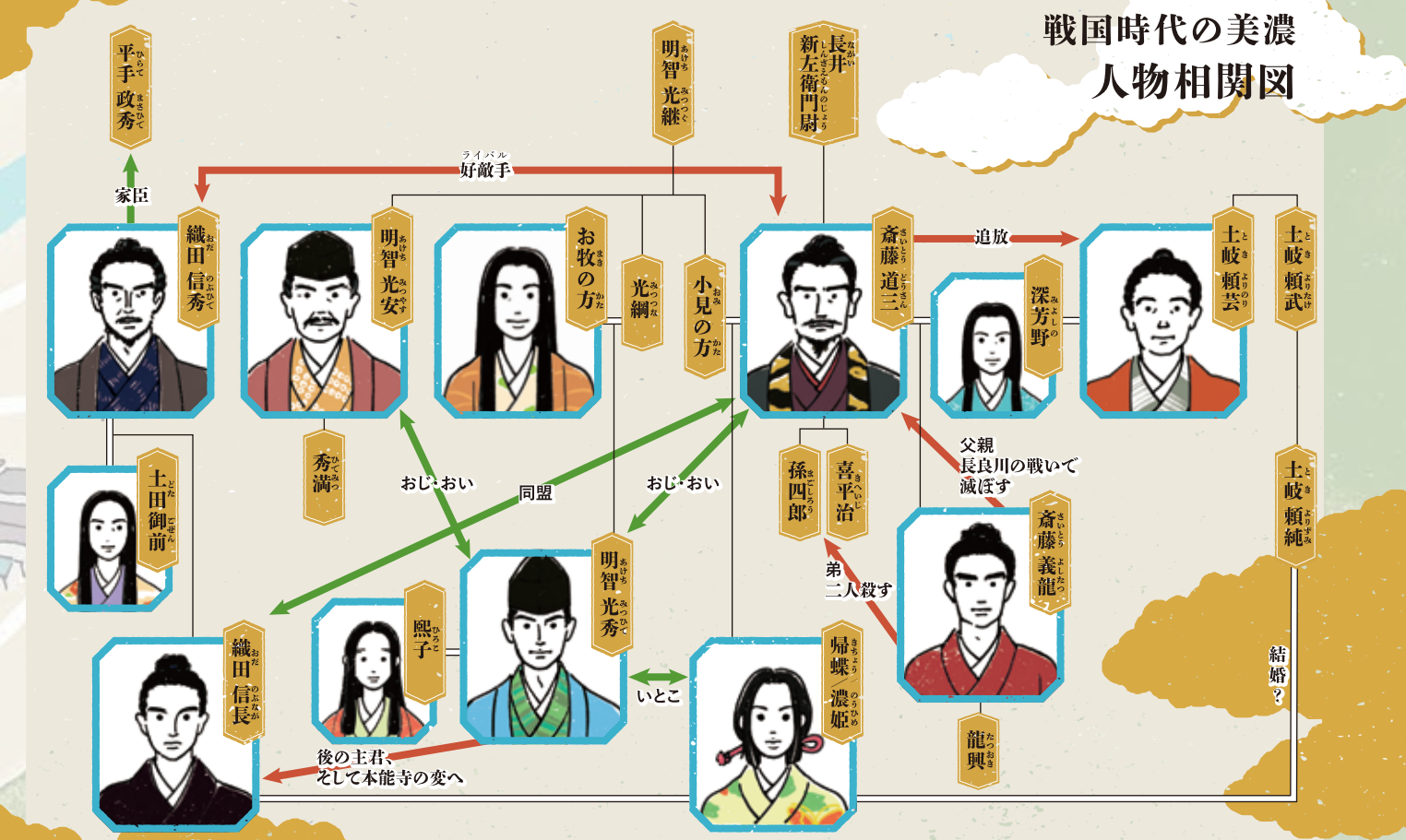
観光のお問い合わせ

山口市まちづくり・企業支援課(山口市観光協会事務局)(平日のみ)
TEL:0581-22-6831
メールアドレス:machi@city.gifu-yamagata.lg.jp
大河ドラマ館前観光案内所 TEL:090-7611-9799

戦国時代の美濃 出来事年表

天正 10 (1582)	光秀による本能寺の変。信長、信忠父子討死
天正 4 (1576)	信長、家督を織田信忠に譲り、岐阜城主とする
天正 3 (1575)	信長、家督を織田信忠に譲り、岐阜城主とする
永禄 11 (1568)	明智光秀の仲介により、信長が將軍・足利義昭を立政寺に迎える
永禄 10 (1567)	明智光秀の仲介により、信長が將軍・足利義昭を立政寺に迎える
弘治 2 (1556)	信長が美濃を攻略。本拠地を小牧山から移し、町の名を「岐阜」と改める
弘治 元 (1555)	長良川の戦い。道三VS義龍。道三、壮絶な死を遂げる
天文 23 (1554)	道三、家督を斎藤義龍に譲る
天文 22 (1553)	道三と信長、富田聖徳寺(愛知県一宮市)で初めて会見
天文 19 (1550)	この頃、道三が守護の土岐頼芸を追放する
天文 18 (1549)	この頃、織田信長と道三の娘・濃姫が結婚
天正 16 (1547)	大桑城落城。頼純死去
天正 15 (1546)	頼純と道三の娘(濃姫?)が結婚
天文 13 (1544)	加納口の戦い。頼純&朝倉氏&織田信秀VS道三
天文 12 (1543)	この頃、道三が稲葉山城に拠点を置く
天文 8 (1539)	大桑城で合戦。道三による大桑方(頼純?)への攻撃か
天文 4 (1535)	天文4年の乱。道三VS土岐頼純&朝倉氏&六角氏
天文 3 (1534)	長良川大洪水。守護所が長良・枝広館から大桑城(山口市)へ移転
天文 2 (1533)	道三が長井本家を打倒
天文 2 (1533)	斎藤道三の父・長井新左衛門尉死去

ドラマチックな 戦国時代の美濃を体感



※年表・相関図は簡説あります ※図は江戸時代の二次資料も参考にしています

戦国城下町 岐阜 まちなか歩き 広域マップ



戦国城下町 岐阜 まちなか歩き 桔梗の道エリア



歴史旧跡…… 六角

戦国城下町 岐阜 まちなか歩きマップ



戦国武将ゆかりの地 山口市 桔梗の道

土岐氏と光秀ゆかりの地 山口市

室町時代から戦国時代にかけて美濃国を中心とした勢力を誇った守護土岐氏は、天文4年(1535)の長良川の洪水をきっかけに現在の山口市大桑おおが地区に守護所を移し、大桑城や城下町を本格的に整備しました。大桑城主となった守護・土岐頼芸は優れた鷹の面の描き手だったといわれています。大桑城はその後、斎藤道三に攻められ、頼芸は美濃を追放されます。また、山口市の中洞地区には土岐氏の流れをくむ武将・明智光秀の出生や晩年に関する伝承が残り、光秀の墓といわれる「桔梗塚」があります。光秀は天正10年(1582)、本能寺の変で信長を討った後、山崎の合戦で秀吉に敗れて命を落としたとされますが、中洞では「死んだのは影武者だった」と伝わっています。光秀本人は郷里の中洞に落ち延びた後、身代わりとなった影武者・荒木行信の忠誠に深く感銘して自ら荒深小五郎と名乗り、慶長5年(1600)、関ヶ原の合戦に向かう途中、増水した藪川(根尾川)で馬と共に押し流されて亡くなるまで中洞の地で暮らしたといわれています。